

科目		単位(時間数)	時期	講師名(職名)(時間数)	
※ 助産臨床推論		2(45)	1学期	① 伊藤 美栄 (助産師) (25)	
				② 並崎 直美 (助産師) (4)	
				③ 與那覇 由 (助産師) (8)	
				④ 岡庭 暁子 (助産師) (8)	
目 標					
臨床推論の基礎を学び、周産期における母子の判断に必要な思考力を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	妊娠期の臨床推論	1) 妊婦健康診査シミュレーション	演習	①伊藤 美栄 技術試験
2	2				
3	2		2) 妊婦健康診査 OSCE リフレクション	技術試験	
4	2	分娩期の臨床推論	1) 分娩期の臨床推論学習プログラム ①第1段階(知識整理)【事例1】 初産婦、前期破水 ・因子判別、入院時診断、初期プラン ・初期診断 ・パルトグラムの記載 ・リフレクション	講義 GW	①伊藤 美栄
5	2				
6	2		②第2段階(臨床思考)【事例2】 経産婦 ・電話場面における臨床推論と対応 ・来院場面における臨床推論と入院判断 ・初期診断とケアプラン ・リフレクション	講義 GW	
7	2				
8	2		③第3段階(統合)【事例3】 -シミュレーション- 経産婦、早期破水 ・分娩進行の判断と診断修正 ・CTG判読 ・分娩準備の判断、応援要請 ・パルトグラム、助産録の作成 ・リフレクション	演習 GW	
9	2				
10	2		④第4段階(応用)【事例4】 初産婦、回旋異常、微弱陣痛 加速期遷延 ・分娩進行の判断と診断修正 ・医師への報告タイミング、SBAR報告 ・陣痛促進剤の使用時の管理 ・リフレクション	講義 GW	
11	2				

12	2		・入院時の助産診断 記述 ・臨床推論 まとめ	講義	①伊藤 美栄	
13	2	産褥期の臨床推論	1) 産後にみられる症状と考えられる疾患、観察と判断視点、対応 ①呼吸困難 ②頭痛	講義 GW	②並崎 直美	
14	2		③外陰部の疼痛 ④発熱	講義 GW		
15	2		2) 特別な支援を必要とする場合のケア ・直接授乳が困難な場合 ・乳頭痛、乳頭亀裂がある場合 ・乳腺炎のケア ・乳汁分泌を抑制しなければならない場合	講義	③與那覇 由	
16	2					3) 母子分離を余儀なくされる場合
17	2					4) 母乳育児支援の実際 ・母乳育児のための出産前教育 ・出産直後の母乳育児支援 ・ポジショニングとラッチ・オン
18	2					
19	2		新生児期の臨床推論	1) 生後 24 時間以内に見られる症状と考えられる疾患、観察と判断視点、対応 ①呼吸障害 ②黄疸 ③けいれん	講義 GW	④岡庭 暁子
20	2					
21	2	2) 新生児仮死蘇生法の実際 (演習) 新生児仮死の評価と蘇生法 (NCPR)		講義 演習		
22	2					
23	1	筆記試験 (45 分)			①	
授業形態	講義					
評価方法 点数配分	技術試験 20 点 (妊婦健診 OSCE) (講師①) 筆記試験 40 点 (分娩期臨床推論記述) (講師①) 筆記試験 40 点 (産褥・新生児期の臨床推論) (講師③ 20 点、講師④ 20 点) 履修規定第 5 条、第 6 条に定めるとおりとする。 *筆記試験、技術試験をそれぞれ合格することで単位認定する。					
テキスト	・助産学講座 7 ・助産学講座 8 ・助産師基礎教育テキスト 6 ・助産師基礎教育テキスト 7 ・新生児学入門					
参考図書等	・マタニティ診断ガイドブック ・助産業務ガイドライン 2019 「正常分娩急変時のガイドライン」 ・NICU ナースのための必修知識					
備考	・講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。 ※この科目は実務経験のある教員による授業科目である。					